

和食を中心とした日常食をHigh quality,Low priceで！

株式会社 カルラ

平成22年2月期 決算説明会

平成22年4月20日



目次

1.第38期の業績ハイライト・・・3

2.中期計画の骨子・・・・・・・・・・10

3.H23/2期 業績予想数値・・・25

当社は、H20年4月に子会社「(株)ネットワークサービス」を設立し、連結決算を実施しております。
本決算説明会資料では、特にお断りしない限り、すべて連結の数値を用いております。
(単体の売上高は、連結売上高の99.9%を占めております。)



1.第38期(H22／2期)の業績ハイライト

(1) 貸借対照表

(単位:百万円、%)

	前期末(H21/02期)		当期末(H22/02期)			主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	
流動資産	631	9.7	997	15.7	+366	
現金及び預金	277	4.3	648	10.2	+371	
棚卸資産	183	2.8	157	2.5	△26	
その他	171	2.6	192	3.0	+21	
固定資産	5,854	90.3	5,351	84.3	△503	
有形固定資産	4,149	64.0	3,762	59.3	△387	取得130百万円、売却・除却179百万円、減価償却337百万円
無形固定資産	112	1.7	93	1.5	△19	
投資等	1,593	24.6	1,494	23.5	△99	建設協力金の返還等
総資産	6,486	100.0	6,348	100.0	△138	
流動負債	1,968	30.4	2,062	32.5	+94	
短期有利子負債	1,245	19.2	1,406	22.2	+161	
固定負債	2,172	33.5	1,826	28.8	△346	
長期有利子負債	1,971	30.4	1,631	25.7	△340	
株主資本	2,345	36.2	2,459	38.7	+114	増資70百万円、純利益71百万円、配当金支払28百万円等

金額は百万円未満を切り捨てていますので、合計とは必ずしも一致しません。

(2) 損益計算書（前期・計画比較）

（単位：百万円、％）

	前期		H22/2期 実績				H22/2期 計画			
	金 額	構成比	金 額	構成比	前期比	差異金額	金 額	構成比	計画比	差異金額
売 上 高	8,696	100.0	8,062	100.0	92.7	△634	8,616	100.0	93.6	△554
売 上 原 価	2,834	32.6	2,551	31.7	90.0	△283	2,795	32.4	91.3	△244
売上総利益	5,861	67.4	5,510	68.3	94.0	△351	5,821	67.6	94.7	△311
販 管 費	5,958	68.5	5,328	66.0	89.4	△630	5,596	65.0	95.2	△268
営 業 利 益	△97	△1.1	182	2.3	—	+279	225	2.6	80.9	△43
営業外収益	57	0.7	75	0.9	131.4	+18	63	0.7	119.0	+12
営業外費用	93	1.1	101	1.3	108.5	+8	88	1.0	114.8	+13
経 常 利 益	△133	△1.5	156	1.9	—	+289	200	2.3	78.0	△44
特 別 利 益	0	0.0	126	1.6	—	+126	0	0.0	—	+126
特 別 損 失	16	0.2	162	2.0	—	+146	59	0.7	274.6	+103
税引前利益	△149	△1.7	121	1.5	—	+270	141	1.6	85.8	△20
法 人 税 等	56	0.7	49	0.6	87.0	△7	61	0.7	80.3	△12
当期純利益	△206	△2.4	71	0.9	—	+277	80	0.9	88.8	△ 9

金額は百万円未満を切り捨てていますので、合計とは必ずしも一致しません。

4 和食を中心とした日常食を High quality, Low price で！

(3) キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	前期	H22／2期
現金等の期首残高	398	277
営業活動によるCF	427	429
投資活動によるCF	△230	85
財務活動によるCF	△318	△143
現金等の期末残高	277	648

営業活動によるCF

収入の内訳：減価償却費3億57百万円の計上、減損損失97百万円、税金等調整前利益1億21百万円等

投資活動によるCF

収入の内訳：固定資産売却1億75百万円、建設協力金回収66百万円等
支出の内訳：固定資産取得1億25百万円、建設協力金支出42百万円等

財務活動によるCF

収入の内訳：長期借入金5億45百万円、短期借入金増減2億11百万円等
支出の内訳：長期借入金返済9億35百万円、配当金支払28百万円等

H22／2期 課題

■ 冗費節減(俟約)

無駄な経費を徹底して削減

■ 商品力(メニュー力・サービス力、店舗力)強化(増収)

メニュー改訂、作業レベル向上、企画宣伝力強化

■ 組織の確立(やる気)

評価・教育・賃金連動の制度構築

冗費節減への取組結果

■販売費及び一般管理費

H21/2期 59億58百万円(売上構成比68.5%)

H22/2期 53億28百万円(売上構成比66.0%)

前年比 △6億30百万円(売上構成比△2.5%)

- ✓ 人件費・・・就業管理システムの運用による稼働計画の精度向上
- ✓ エネルギー費・・・水道光熱費の節約、単価の下落
- ✓ 固定費・・・地代・家賃の値下効果

商品力強化への取組結果

- ✓ メニュー力強化
和食のファミリーレストランとしての
原点回帰



サービス力、店舗力の低下



客数減少の要因



組織の確立への取組結果

✓ 評価・教育・賃金連動の制度構築

地区長の積極的活動による店舗の活性化



評価される喜び



意識改革の強化



組織的問題解決



管理能力向上

H23/2期 継続課題

2.中期経営計画の 骨子

2. 中期経営計画の骨子

➤我が社の理念

「飲食」とは、人間の生命を支え、明日への喜びを作り出す最も基本的なことである。私達は、この「飲食」を、生産から販売までの一貫体制で実現し、人々に健康的で美味しい食事を、より価値ある価格で提供し続けることによってより豊かな生活を実現し、社会に貢献して行く。

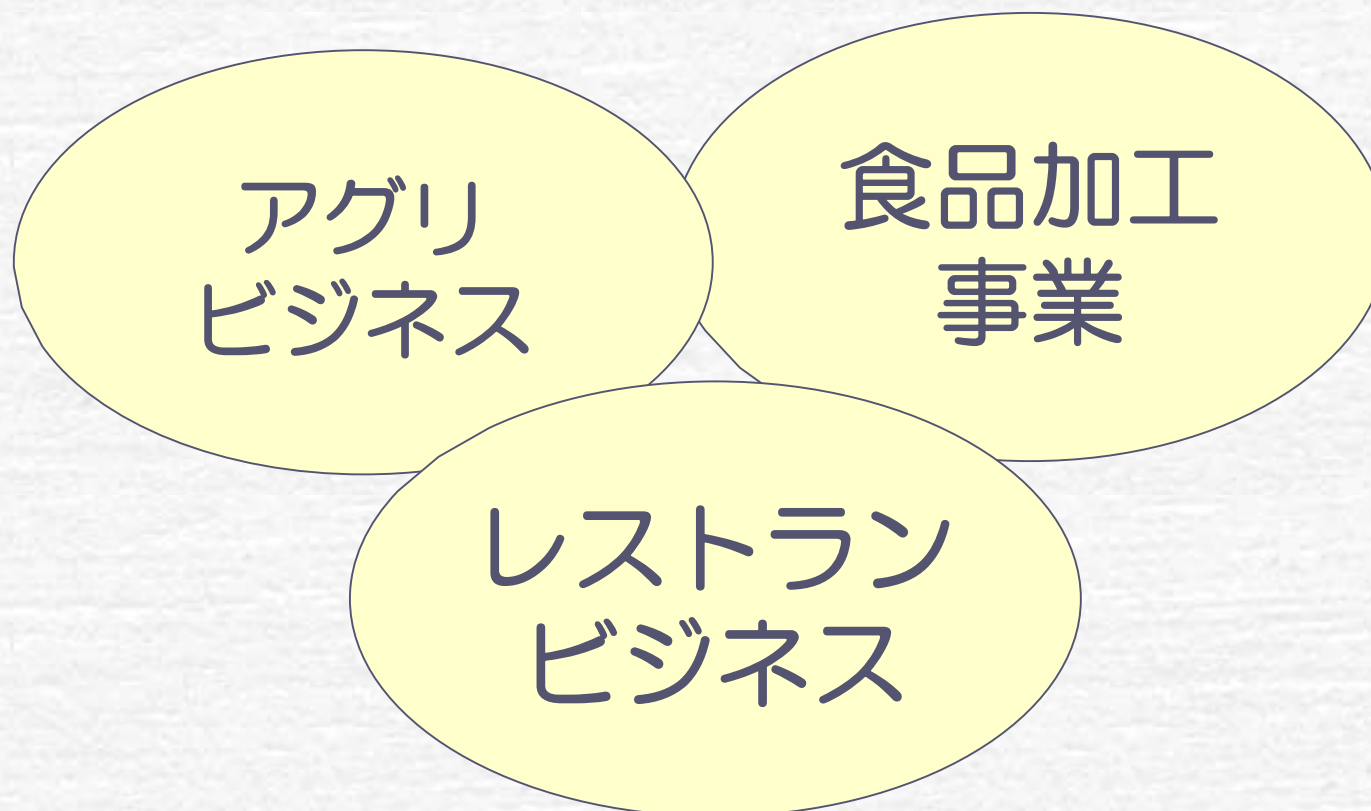
2. 中期経営計画の骨子

➤我が社のビジョン

- 1.生産から販売までの一貫した体制
の確立(マス・マーチャンダイジ
ングシステムの確立)
2. 店数1,000店舗、売上1,000億
円、経常利益100億円のチェー
ンストアの構築

2. 中期経営計画の骨子

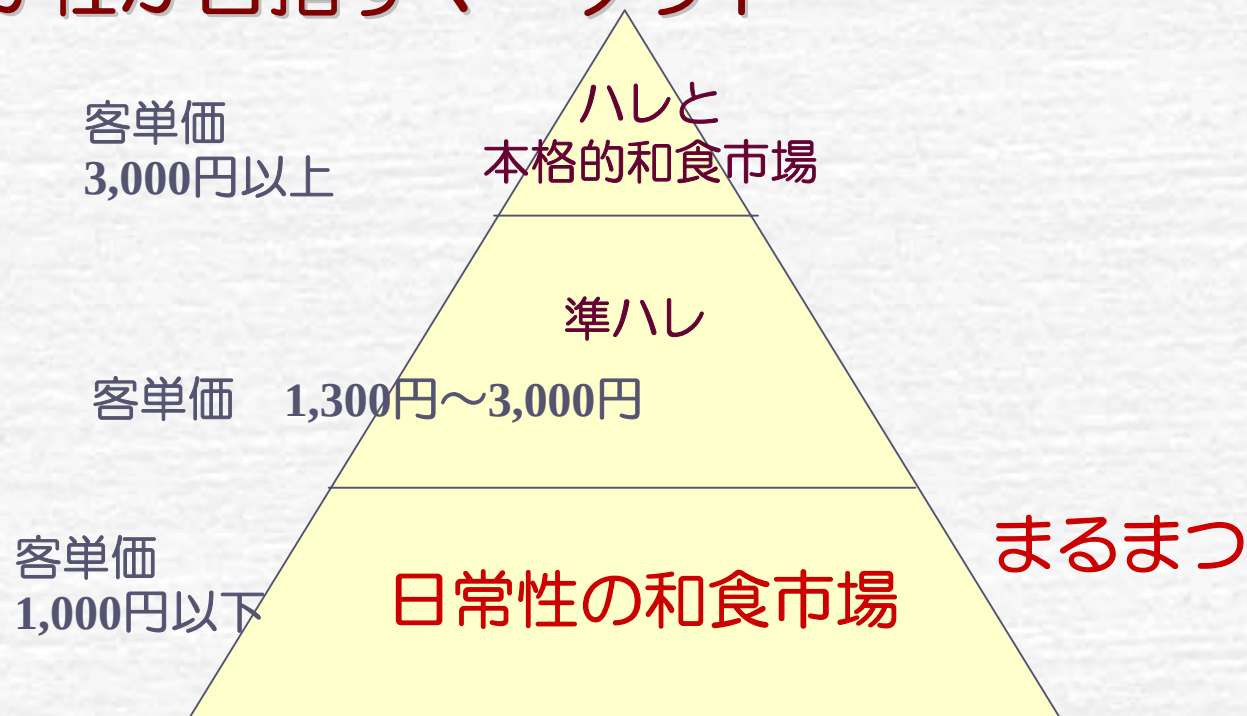
ビジネスの三本柱



2. 中期経営計画の骨子

(1) レストランビジネス

我が社が目指すマーケット



日常性を追求した和食のマーケットは巨大である。「まるまつ」は人口5万人の商圈でも成立する小商圈フォーマットであり、全国で2,000店が可能となる。

2. 中期経営計画の骨子

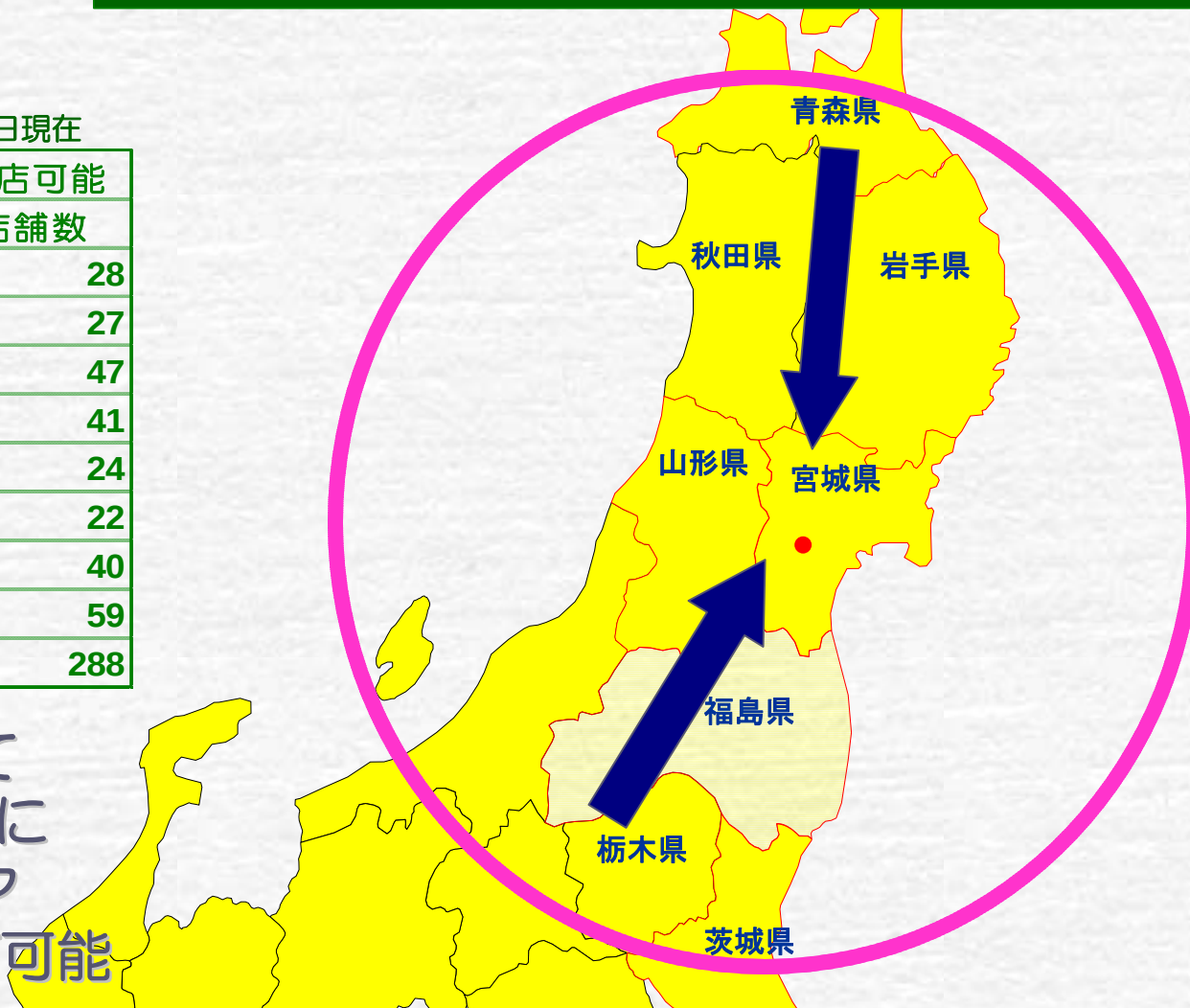
今後の出店余地

町の人口5万人に対して1店舗出店

総務省統計局 平成20年10月1日現在

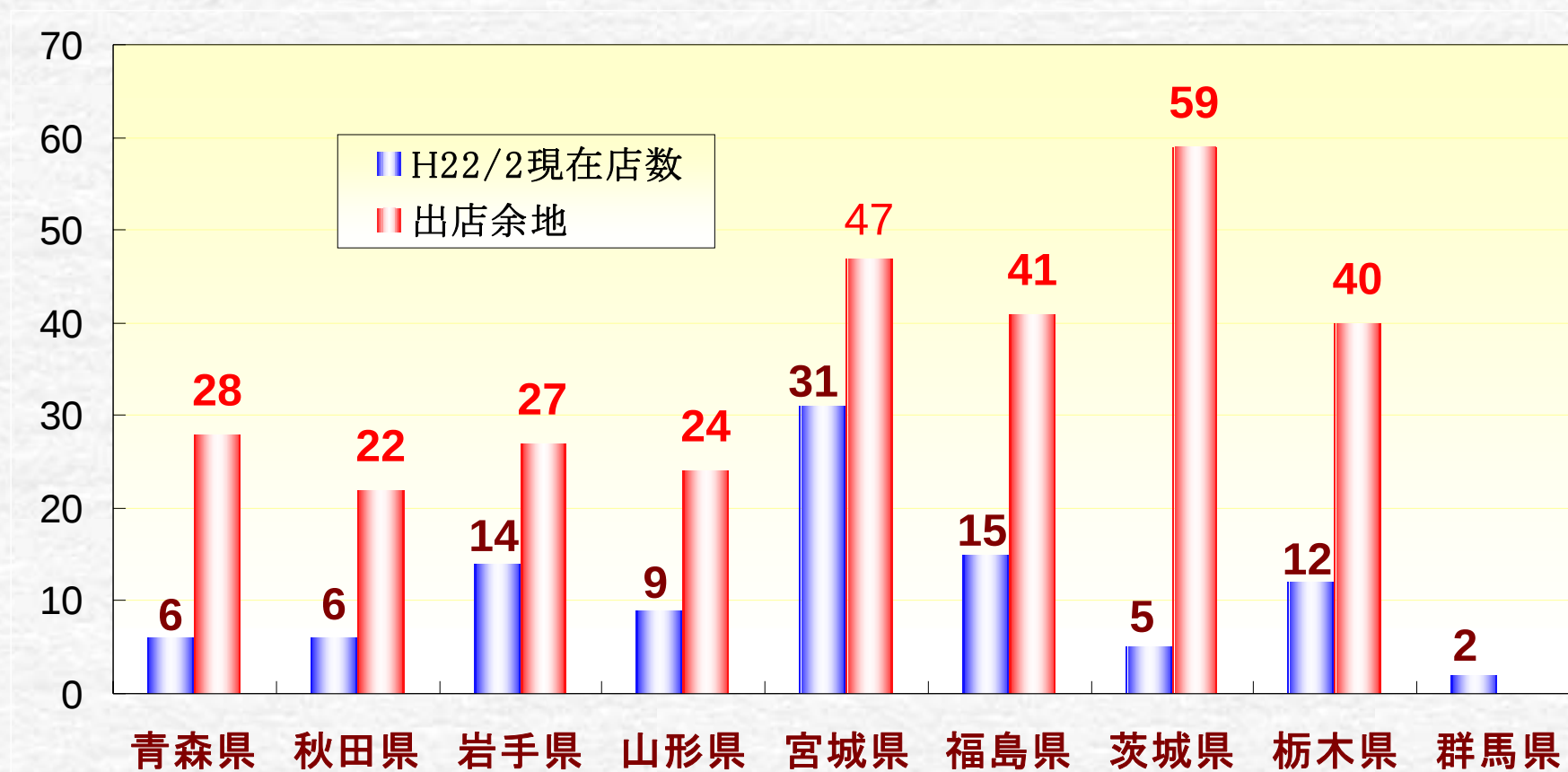
	人口 (千人)	出店可能 店舗数
青森県	1,392	28
岩手県	1,352	27
宮城県	2,340	47
福島県	2,052	41
山形県	1,188	24
秋田県	1,108	22
栃木県	2,011	40
茨城県	2,964	59
合計	12,396	288

宮城県を中心として
時間距離4時間圏内に
東北・北関東エリア
で**288店舗**の出店が可能



2. 中期経営計画の骨子

今後の出店余地(東北・北関東)



2. 中期経営計画の骨子

value
価値 =

menu service cleanliness
メニュー力 × サービス力 × 店舗力

価格
price

2. 中期経営計画の骨子

我が社の商品力の定義

「商品力」とは

- メニュー力
- サービス力
- 店舗力

2. 中期経営計画の骨子

「メニュー力」とは

- うまい
- はやい
- 同じ(均一)

2. 中期経営計画の骨子

「サービス力」とは

- 笑顔
- キビキビ
- 爽やか

2. 中期経営計画の骨子

「店舗力」とは

■ ピカピカ

■ 整理整頓

■ 乾燥

中期経営計画数値目標

	H23/2期	H24/2期	H25/2期
売上高(百万円)	8,100	9,700	13,000
営業利益	270	520	1,050
経常利益	250	520	1,100
経常利益率	3.1%	5.4%	8.5%
純利益	110	210	600
一株あたり純利益	16円	35円	100円

2. 中期経営計画の骨子

(2)アグリビジネス

- よりおいしいものを
- より新鮮なものを
- より安全なものを

2. 中期経営計画の骨子

(3)食品加工事業

■素材にこだわった製品・製造で他社との差別化を

✓安全なものを
✓安心して食べて
もらうために



rula
株式会社カルラ

H23/2期 業績予想値(前年比)

(単位:百万円、%)

	H22/2期 実績	構成比	H23/2期 計画	構成比	前期比	前期差異
売上高	8,062	100.0	8,100	100.0	100.4	+38
売上原価	2,551	31.7	2,528	31.2	99.0	△23
売上総利益	5,510	68.3	5,572	68.8	101.1	+62
販管費合計	5,328	66.1	5,302	65.4	99.5	△26
営業利益	182	2.3	270	3.3	148.3	+88
経常利益	156	1.9	250	3.0	160.2	+94
当期純利益	71	0.9	110	1.4	154.9	+39

前提条件

1.出店・改装について

まるまつの新規出店 5店舗、改装 8店舗

2.退店について

不振店について、支援策及び業態変更による収益改善見込み等を十分検討のうえ決定する

■ 経営資源の有効活用

評価・教育・賃金の三位一体化
商品力強化による他社との差別化

■ 経費節減

物流コストの削減、工場の生産性向上

■ 新業態開発

小型和食店舗の開発



カルラの意味

迦留羅（カルラ）とは、神話上の架空の大鳥であり、大勢の仲間と助け合って住み、両羽根をひろげると宇宙をも包んでしまうといわれています。人も良き助力者や仲間の助けを借りてこそ事を成すことができるという事で、仲間の協力があれば、その力は限りない可能性を持ち、宇宙までもひろげられるという思いを表しています。

マークの意味



5本の線は迦留羅の羽根を表し、世界に向けての飛躍の意味です。また、外食産業繁盛の原則である

1. 商品力 2. サービス力 3. 店舗力 4. 立地力 5. 企画開発力
の5本柱をも表しています。

羽根を支える二つの柱は安定を意味し、羽根を品質（Q）とするならば、左側の部分は研ぎ澄まされたクレンリネス（C）であり、右側の部分はまろやかでどの様にも対応できるサービス（S）を意味しています。

本日は有り難うございました。